

日看大協第 85 号
2023 年 10 月 10 日

公益社団法人日本看護協会

会長 高橋 弘枝 様

一般社団法人日本看護系大学協議会

代表理事 鎌倉やよい



「看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究」

【調査協力のご依頼】

平素より本会の活動にご理解とご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。先般、本会が実施している、文部科学省事業『令和 5 年度「先導的¹大学改革推進委託事業」看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究』のご協力依頼をさせていただきました。

お蔭様をもちまして、看護職の皆様より多くの実践が言語化され、次世代の看護師にとって必要な資質・能力の基盤が明らかになってまいりました。引き続き、ぜひ特に貴会員の看護職の皆様・看護系教員の先生方にご協力をお願いし、前回までの調査で明らかになった教育要素や教育範囲についてご意見を頂戴したいと考えております。

今回の調査は 10 月 2 日（月）～20 日（金）の期間で行われます。 つきましては、本調査のポスターを添付いたしますので、本調査の趣旨・内容をご理解頂き、貴団体の HP への掲載、会員の皆様へメール配信、研修会でのアナウンスと配布など、貴会員の皆様にご協力の依頼を広くご周知いただきたくお願い申し上げます。

看護基礎教育の質向上のためにも、ご協力をお願いいたします。

《本調査に関する問い合わせ先》

一般社団法人 日本看護系大学協議会事務局

Tel 03-6206-9451(対応時間 9:30-16:30)

Email: office@janpu.or.jp

FAX 03-6206-9452

(裏面もご確認ください)

「看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究」

調査に関するご説明

1. 本調査の目的

「2040年以降の社会を想定した看護職、次世代を担う看護実践能力、そのために必要な教育内容」を明らかにし、次期「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」の改訂案を作成することを目的とします。

なお、本調査全体に関する概要は <https://www.janpu.or.jp/commissioned-project2023/> をご覧ください。

2. 調査期間・対象・方法

1) 期間:10月2日(月)～20日(金)

2) 対象:看護管理者・専門看護師・クリニカル・ナースエディケーター

診療看護師(NP教育課程修了者およびJANPU-NP教育課程修了者)・看護系教員
臨床経験5年以上の看護師

特に臨地実習指導・新人教育担当の看護師・現任教育に携わる看護師の皆様

3) 調査項目:次世代の看護師に必要な「教育要素」と「教育範囲」についてお伺いします。

4) 調査方法

① 右記QRコードもしくは下記URLからインターネット上にアクセスしてください。

<https://www.janpu.or.jp/commissioned-project2023/>



② 表示されたインターネット画面上のChat型AIからの質問に、文字入力によりご回答ください。

③ 回答時間は **1回あたり20～30分程度**です。途中の中断も可能ですが、その場合、質問や話題が変わる場合があります。

※本調査研究で使用するChat型AIは、看護学教育に関する用語を学習させた調査研究目的のみで使用され、データ収集のための設問搭載を行っております。**インタビューで入力された情報は二次利用も生成系AIの学習にも利用されず**、外部に情報漏洩することはありません。

3. 倫理的配慮

1) 意見提出参加の任意性

本調査への協力はご本人の自由意思によるものと致します。この依頼をお断りされることによって、貴団体ならびに職員の方に、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。貴会員の方に調査に協力したかどうかの確認をされないように、お願い申し上げます。

2) 個人の不利益に対する配慮

本研究は大きな不利益にはつながらないと考えますが、回答に要する時間的負担、インターネット通信費がかかる経済的負担、2040年以降の社会を想定した看護職・看護実践能力・教育内容に関する質問に回答することで精神的負担が生じる可能性があります。

3) 個人情報保護に対する配慮

本調査は対象者への侵襲や介入はなく、試料も収集しません。また、質問項目には個人が特定されやすい内容を含んでおりません。得られたデータはパスワードを設定して、本会が一括して管理いたします。なお、研究終了後10年後に、電磁ファイルの消去、現物はシュレッダーにて廃棄いたします。研究成果を公表する際には施設や個人が特定されないよう十分配慮致します。

以上